

わたなべひよか
渡辺鶴禾短歌集

新型コロナウイルス騒動

新型コロナウイルス中国の武漢発生世界をめぐる
日本にもコロナウイルス発生し小中高の学校休み
デイケアへ行かずに休む毎日は平穏であり孤独でもある
集会も花見の宴ダメとなりかたつてないほどホラーな日々よ
帰宅して手洗いうがい日に何度うつらぬように出歩きも減る
買い物に出かける自由まだありて家にいるよう知事等の叫び
テレワークしている知人休業に追い込まれたる知人いろいろ
吾の暮らし孤独ひとりで過ごす日々なれど外に出るとき幼児手を振る
近所の子玄関前で遊びたる手を振る我に手を振り答う
週一度ヘルパーさんと声上げて何度も笑う会話嬉しく
大手術コロナウイルスしてのける世界の膿をどこに流すや
嗅覚と味覚を奪うコロナ病幸わせ気分ならさぬためか

ニユース聞く新型コロナ死亡者の高齢者わく吾も入りたる

愛おしさとトキメキ感がコロナには都合悪いか活路をたつか

コロナより分断されし人々よ文明の利器孤立をふせぐ

飛行機も飛ばないために地球温暖ストップかかる

毎日がホラーな日々を過ごしたる伸びる企業と消え去る企業

行動を制限されし日々続くカジノ計画白紙になるや

のばされたオリンピックも一年後それまでコロナ恐怖なくそう

人類が店子で地球大家なら即刻出ると地球の怒り

借家人（人類）部屋ボコボコにしても

まだ家賃滞納怒る地球（家主）よ